

平成29年4月28日

# 二宮町教育委員会会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開会時間 9時 30分

2 閉会時間 11時 00分

3 教育長名 府川 陽一

4 署名委員

5 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	吉田 美佳子
2	○	原 道子
3	○	岡野 敏彦
4	○	山内 みどり
5	○	府川 陽一

6 出席者氏名  
教育部長 鐘ヶ江学  
教育総務課長 黒石徳子  
生涯学習課長 椎野文彦  
教育総務課指導班長 下澤純二  
教育総務課指導班主幹 永井貴幸  
教育総務課教育総務班長 竹本直昭  
教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

7 傍聴者 2名

8 調製者 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

平成29年度4月教育委員会議定例会会議録

日 時：平成29年4月28日（金）

9時30分より

場 所：二宮町町民センター2Aクラブ室

— 開会宣言 —

（教育長）平成29年度4月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

原委員を指名する。

— 職員紹介 —

（教育部長）職員紹介を資料に基づいて行う。

— 教育長事務報告 —

（教育長）4月事務報告を資料に基づいて行う。

（教育部長）4月政策会議報告を資料に基づいて行う。

（各課長）各課の事務報告・事業予定について資料に基づいて行う。

- （原委員）教育長の事務報告の中にありました自立支援施設は、設置者がどこになるのでしょうか。二宮の子どもも行くことが出来るのでしょうか。また、大磯学園は虐待ケースの子どもが多いと聞いていますが、どうなのでしょう。
- （教育長）設置者は、県となります。義務教育の部分を、平塚市立の小中学校が受け入れることになりました。大磯学園は虐待を受けている子や、養育の力を持たない家族の子どもを預かる施設です。平塚の場合は重度の障害のある子を預かっていく自立生活支援センターとなります。二宮の子どもも行くことは可能です。
- （吉田委員）バウンスポールは町が主催していたソフトバレーボール大会の代わりに、スポーツ推進委員が主催して行う大会ということですが、今後どのように運営するのでしょうか。
- （生涯学習課長）バウンスポールはやわらかくけがをしにくいボールを使いますので、広く大人にも子どもにも参加してもらおうと、各地区のスポーツ推進委員などを通じて呼びかけを行いました。

- （吉田委員）ソフトバレーボール大会などは、地域の大人と中学生が交流できるとてもいい機会でしたので、バウンズボール大会も同じように中学生に特化した募集の仕方を工夫していただきたいです。
- （生涯学習課長）ソフトバレーボール大会に代わる行事となっていますので、中学生には学校を通じて募集をかける予定です。
- （吉田委員）バウンズボール大会の募集も小中学校を通じてプリントを配っていますが、全体で15名の参加と少ないようなので、PTAなどを通じて趣旨を説明し、募集するとよいと思います。

— 付議事項 —

議案なし

— 報告・協議事項 —

（1）二宮町立一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会設置要綱の一部を改正する要綱について

（指導班長）二宮町立一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会設置要綱の一部を改正する要綱について資料に基づいて説明。

（2）県市町村教育委員連合会総会報告について

（吉田委員）県市町村教育委員連合会総会報告について説明。

（3）平成29年度第1回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について

（原委員）平成29年度第1回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について資料に基づいて説明。

○（原委員）学校運営協議会制度の改正についてですが、町でも規則等を制定するのでしょうか。

○（教育総務課長）二宮町の教育委員会でも新たに規則を作ることになります。国からひな形等も示されていますので、それを元に作成しようと考えています。

○（吉田委員）校長先生の影響力が強まったように感じますので、負担が増えてしまうことが懸念されます。地域の方へのアピールなど教育委員会でもバックアップしていただきたいと思います。今回のはぐくみ塾「子どもを犯罪から守るために」についてですが、とて

もよかったという意見を聞きました。保護者にもぜひ聞かせたいという意見がありましたので、例えば、PTAの各種委員会で周知するなど、保護者に伝わるような方法を工夫するとよいでしょう。

- （岡野委員）例えば、PTA総会とセットで活動するなどしてみるのもいいかもしれないと思いました。
- （教育長）自分の子どもは自分で守るといのはとても重要だと思います。それぞれの立場の人がそれぞれ責任を持っていくことが大切だと思います。それをつなぐ意味でPTAは重要です。知識を教えるのも大切ですが、命を守るための取り組みはさらに重要な課題だと思いますので、保護者と学校の教職員と話し合いを行っていかなければいけません。
- （山内委員）今回は防犯のお話なので、見守りを行っていただいている自治会長さんなどに声をかけ、とても参考になったという感想を聞きました。校内に知らない人が入ってきたら声をかけるなど、具体的なお話が聞けたのが良かったです。1つ1つ小さなことから積み上げていく必要があり、身に着けていく必要があると感じました。はぐくみ塾をアピールするためにも、掲示板に貼るなどの利用を広げたいと思います。また、参加出来なかった人が資料を手に入れる方法があるといいと思います。
- （原委員）地区長に声をかけていただけるのはとてもいいことだと思います。資料については教育委員会に残部を置いていますので、教育委員会に連絡をいただければ、お渡しできます。
- （吉田委員）ビデオなどは撮っているのでしょうか。
- （原委員）許可を取って撮影していますので、それをお貸しすることも出来ます。
- （岡野委員）今はインターネットも発達しているので、はぐくみ塾をSkypeでライブ配信するなど検討してはいかがでしょうか。防犯については、学校と地域の連携が重要です。その場合は、お互いの役割分担が重要なポイントになります。防犯の視点では、国際ナショナルセーフスクール(ISS)と呼ばれる、安全安心な学校づくりを狙いとした国際認証の仕組みがあるので、これを見習ってはどうか。この国際認証を日本で初めて取得したのは、あの痛ましい事件のあった大阪教育大学附属池田小学校です。それに次いで厚木市の清水小学校が認証を取得しています。日本では2017年2月までに約17団体がこの国際認証を取得していて、最近では京都府亀岡市の保育園が同時取得しています。この国際認証を取得するためには8個のチェック関門を通過しなければなりません。これらは、例えば「地域の自治会との連携はとれていますか」、「子どもたち自身が自衛する仕組みはありますか」などというものです。これら8つのチェック項目はそれぞれの責任の主体が明確になっています。防犯の組織体制をぬけもれなく作り上げるためにも、この仕組みを勉強して、二宮の小中五校で同時取得するような目標設定が必要でないでしょうか？
- （教育長）防犯などの取り組みは行政や学校の力だけでやるものではなくて、町民の自主事業的なものにしていきたいと考えています。みんなの問題として取り上げられるような

仕組みづくりが出来ていくといいと思います。

- （山内委員）11月に一色小学校でコンサートがあって、学校の校長先生や地区の方々と話し合いを行っています。色々な会議が一色地区で行われているので、全体を掌握する人が必要なのではないかというお話がありました。現場では仕事が増えてしまうというお話が聞かれます。色々な方が連携していく必要があるので、リーダーが必要だと感じました。
- （教育長）人と人との連携が本当に大切だと思いますので、色々と考えていきたいと思います。

#### （4）その他

##### — 次回教育委員会議予定 —

（教育総務班長）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

##### — 閉会宣言 —

（教育長）平成29年度4月定例教育委員会議を終了いたします。

11時 00分 終了